

主な就職情報サイトの新型コロナウイルス対応

サイト名 (運営企業)	利用者数 ・掲載社数	対応	影響
マイナビ (マイナビ)	90万人 2万4400社 (2019年 実績)	3月1～15日 に予定された 全169会場を 中止・延期	21万人 1万4000社
リクナビ (リクルート キャリア)	76万人 2万4500社	2月下旬～3 月に予定され た91会場を中 止	3万～ 5万人 5000社
キャリア 就活 (ディスコ)	38万人 1万6700社	3月1～15日 の合同説明会 13会場を中止 ・延期	1万人以上 500社
あさがく ナビ (学情)	36万人 2100社	3月に8会場 で開催予定。 マスク着用や アルコール消 毒の徹底を参 加者に要請	出展を取り やめる 企業も
楽天みんな就 (楽天)	64万人 2万9000社 (口コミ掲 載社数)	2月26日に予 定されたIT 業界イベント を中止	55社

※企業の影響は延べ数

「対面のイベントが開けないが、ウェブなどを活用して従来と変わらないよう接点を持ちたい。安心して就職活動を続けてほしい」
就職情報会社「マイナビ」(東京)が1日開いたウェブ会社説明会。都内の撮影ブースで、三菱商事の採用担当者が、ネット中継のカメラに向かって呼びかけた。
このイベントは、東京や大阪など全国4会場から、企業の採用担当者が説明する様子をネットで中継した。会場には学生は一人も



ウェブで自社をPRする三菱商事の担当者(1日、東京都文京区で)＝川口正峰撮影

採用活動解禁

2021年春に卒業予定の大学生らに対する企業の採用活動が1日、解禁された。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて合同説明会の中止が相次ぎ、インターネットを使った中継方式に切り替える企業が出ていた。人手不足で学生の「売り手市場」が続く中、知名度の低い中小企業の採用への影響が懸念される。(経済部 吉田厚、教育部 青木佐知子)

チャットで質問

おらず、採用担当者の声だけが会場に響いた。事前に

登録した学生は、パソコンやスマートフォンで説明を聞いた。チャット機能を使って企業側に質問もできた。
マイナビやリクルートキャリア(東京)など大手就職情報会社は、感染拡大を受けて来場型の合同説明会を中止・延期し、代わりにウェブでの説明会に力を入

れる。マイナビのウェブ説明会の参加社は昨年の2倍となる256社、視聴する学生の予約者も2.5倍の6万5000人に急増した。栗田卓也リサーチ&マーケティング部長は「ウェブ説明会は地方や海外の学生に届けられる利点がある」と語り、もともと増加傾向だったという。三菱U

FJ銀行など、個別の説明会をネットに切り替える動きも出ている。
ただ、ウェブだけでは企業の「生」の声を聞けないため、学生側には不安の声もある。東京都内の自宅でウェブ説明会を視聴した昭和女子大3年の女子学生(22)は、「これから就活を進めるのに多くのイベント

が中止になり困っている」と語った。
一方、東京都千代田区で1日に開かれた合同説明会には、学生約200人が集まった。会場入り口ではアルコール消毒が呼びかけられ、マスク姿の学生が目立った。参加した法政大3年の女子学生(21)は「申し込んでいた説明会がセミナー

などが中止になった。ネットの情報だけでは社風が分からないので心配だ」と話した。
中小は影響大
就職情報会社だけでなく、大学内での合同説明会も中止が相次ぐ。早稲田大は10日まで予定していた説明会を全て中止した。約580社が参加予定だったといい、同大キャリアセンタの荻原里砂課長は「学生が色々な企業を知る機会が失われる。知名度の高い企業に応募が集中するので

はと困惑する。
企業側も、全てがウェブでの採用活動に対応できるわけではない。多くは「説明会を開けず、採用スケジュールを練り直さざるを得ない。内定者数を確保できるか不安が残る」(小売り)と懸念を示す。
就職みらい研究所の増本全所長は「採用難が続く中、中小企業にとって合同説明会中止の影響は大きい」と話す。来場型の合同説明会は、志望先を決めていない学生と、知名度の低い中小企業をつなぐ場にもなっているためだ。

就活ウェブが主戦場



採用日程形骸化止まらず

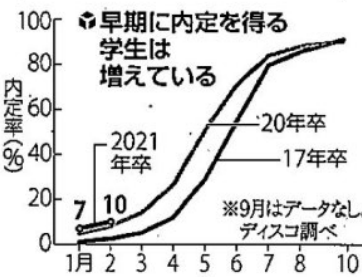
2021年卒業組から、政府が就職活動スケジュールを決めて経済団体などに要請する形となった。日程は経団連が定めていた昨年までと同様、▽大学3年生の3月1日に説明会など広報活動開始▽4年生の6月1日に面接など
就職情報会社ディスコによると、3月の説明会解禁時点ですでに内定を得ている学生が増え、20年卒の昨年3月時点の内定率は13.9%と、17年卒の約3倍となった。21年卒も2月1日時点で10%が内定を得ている。
少子高齢化で学生の数が年々減っており、優秀な人材を獲得することが「企業にとって死活問題」(経団連の中西宏明会長)との危機意識強い。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、相次いで中止や延期
→ウェブ型へ移行

人手不足で人材獲得競争が激化
→早期化



2021年春入社の就活スケジュール



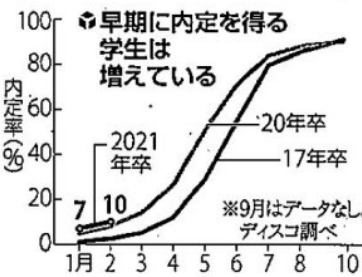
3年生の夏から本格化するインターンシップ(就業体験)の増加だ。本来は学生に事業への理解を深めてもらい、早期離職などを防ぐ狙いで行っているのだが、多くの企業が優秀なインターン参加者には早期選考を案内するなど、事実上採用活動の一環となっている。学業よりインターンを優先する学生も増えており、大学側からの批判が強い。

感染予防 説明会は中止

社風分からず 学生不安



2021年春入社の就活スケジュール



3年生の夏から本格化するインターンシップ(就業体験)の増加だ。本来は学生に事業への理解を深めてもらい、早期離職などを防ぐ狙いで行っているのだが、多くの企業が優秀なインターン参加者には早期選考を案内するなど、事実上採用活動の一環となっている。学業よりインターンを優先する学生も増えており、大学側からの批判が強い。